

ハイ！ スクール通信 High School communication - 市内高校通信 -

Vol.3



岱志高校、有明高校、荒尾支援学校の市内3つの高校の取り組みや学生たちの様子などをお届けします。地元高校の新たな魅力の発見につながるかも!?



▲昨年度あらおシティモールで開催したARA・SHIバザー（作業学習で制作した陶芸作品などを販売）

荒尾支援学校（ARA・SHI）を紹介します

本校は、昭和54年4月に開校しました。平成24年度に荒尾養護学校から荒尾支援学校に名称を変更し、今年度創立40周年を迎えます。

小学部、中学部、高等部に一般学級と重複障がい学級を設置しています。年々児童生徒数が増加し、現在146人の児童生徒が在籍しています。「たくましく、ほがらかに、のびやかに活動できる児童生徒」の育成とともに、キャリア教育の視点に立った生きる力である「かかわる力」「きめる力」「はたらく力」を一人一人の発達段階に応じて身に付けられるよう日々の学習活動に取り組んでいます。

40年の歴史を踏まえ、「一つ一つ丁寧に、誠意をもって!」を本年度のスローガンとして、一人一人の自立と社会参加を目指します。

地域の活動 掲示板

グラウンドゴルフ大会



3/18

平井地区協議会

認知症徘徊模擬訓練



3/18

井手川地区協議会

歩け歩け大会



3/18

中央地区協議会

野外音楽堂清掃



3/25

よかまち中央会

健康講演会



3/25

万田地区協議会

有明地区親睦運動会



3/25

有明地区協議会

鯉のぼり掲揚



3/31

平井地区協議会

中桜祭



4/8

よかまち中央会

4/29 世界遺産万田坑に多くの人々が来場 ～万田坑市民まつり～

▶くまモンステージでは、大きな歓声が会場に響き渡りました



万田坑前広場で万田坑市民まつりが開催され、家族連れを中心に多くの人でにぎわいました。ステージイベントには、荒尾太鼓、肥後荒尾さのよい踊り子隊・荒人、荒尾健康ダンス、くまモンステージ、ストリートダンスFORCE、弥栄、炭鉱ガールズ・原えいじなどが出演。恒例となったみんなで総踊りでは、炭坑節などを参加者全員で楽しみ、最後には抽選会もありました。特産品販売・グルメコーナーにも、地元の味を楽しもうと多くの人々が足を止めていました。

5/3 岩本橋の上空を悠然と泳ぐ鯉のぼり ～岩本橋鯉のぼりまつり～

▶ステージには多くの人々が出演し、祭りに花を添えてくれました



平井地区協議会主催による岩本橋鯉のぼりまつりが岩本橋周辺で開催されました。天気にも恵まれ、優雅に泳ぐ鯉のぼり・矢旗をバックに、幼稚園児・保育園児・小学生・地域の人によるステージをはじめ、食品バザー、抽選会などの催し物で会場は大いににぎわいました。家族で訪れた人は、「子ども向けのイベントも多く、いい思い出になりました」と笑顔を見せました。4月末から5月上旬にかけて鯉のぼり・矢旗の掲揚も行われ、多くの人が見物に訪れました。

5/12 アジサイで彩られた公園にしたい ～アジサイ公園づくり～

▶美しい公園を目指し、一生懸命に除草作業に汗を流す参加者



荒尾ライオンズクラブや荒尾市花いっぱい推進協議会、地域住民など約30人が集まり、運動公園野球場東側のあじさい公園で、アジサイの苗木の植樹と剪定を行いました。

毎年、アジサイを植樹する活動をしていて、ことしで7年目を迎えました。

参加者は、「これからも活動を続け、アジサイでいっぱいの公園にしたい。美しいアジサイを見て、たくさんの人の心を癒すことができたら嬉しいですね」と目を細めました。

5/12 花を育てて学ぶ 人権尊重の心 ～「人権の花運動」伝達式～

▶種まきセレモニー。人権尊重の大切さを考える一日となりました



清里小で、「人権の花運動」伝達式が行われ、全児童が参加しました。

「人権の花運動」は、生命の尊さを実感する中で、人権尊重思想を育み情操をより豊かなものにする運動です。花の種子などを児童が協力し合って育てることを通じて、協力・感謝することの大切さを生きた教育として学びます。伝達式では、代表児童らによる種まきセレモニーや人権擁護委員から活動紹介などがあり、いじめや仲間外しなどをしないことを誓いました。